

(令和5年度当初) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 秋田県 (都道府県: 秋田県)  
 本事業の担当部局名 あきた未来創造部次世代・女性活躍支援課

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業				
区分	一般メニュー				
関連事業メニュー	1.1.1 結婚支援センターの開設・運営、マッチングシステムの構築				
個別事業名	あきた結婚支援センター運営事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	平成23	年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	21,464,000				円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け) <地域における実情と課題> 秋田県は、若年層の県外流出による社会減の進行のほか、独身者の意識変化及びライフスタイルの多様化等による未婚・晩婚・晩産化の進行が影響し、婚姻件数と出生数は、年々減少しており、人口の自然減に歯止めがかからない状況である。 このような中、県人口の自然減を抑制するためには、結婚・子育てに希望もてるよう、小学生から社会人までの各年代でライフプランを学び考える機会を充実させながら、これまで以上に家庭や職場、地域全体で結婚・子育てを応援する気運の醸成を図るとともに、あきた結婚支援センター(以下「センター」という)を本県の結婚支援の中心に位置付けながら、結婚・出産につながる独身者の出会いの機会の創出に向けた取組の拡充を図る必要がある。 秋田県では、県政運営指針「新秋田元気創造プラン(2022~2025年度)」において、県民誰もが将来にわたって生き生きと暮らせる地域社会をつくるため、「未来創造・地域社会戦略」を掲げ、次の6つの「目指す姿」に向けて取り組んでいる。 目指す姿(1): 新たな人の流れの創出 目指す姿(2): 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現 目指す姿(3): 女性・若者が活躍できる社会の実現 目指す姿(4): 変革する時代に対応した地域社会の構築 目指す姿(5): 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成 目指す姿(6): 行政サービスの向上 <本個別事業の位置付け> 目指す姿(2): 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現に位置づけられており、その達成に向け、結婚を希望する人に対する出会いの機会の提供など、結婚につながる総合的な支援を行うこととしている。本個別事業は、本県の結婚支援に関する取組の中心となるセンターの安定的な運営を確保するとともに、結婚に対する県民のニーズに応じた個別の出会いの提供や、結婚に関する様々な相談へ対応することにより、本県における出会い・結婚支援を推進するためのものである。				
	(本個別事業における現状と課題) センターは、平成23年4月に県を中心とする任意団体として運営を開始し、開設以来、登録会員に対するマッチング支援を主たる業務としている。平成27年4月には一般社団法人として法人格を取得し、経営基盤の安定化や社会的信用の確保を図ったほか、令和2年1月には、他自治体へ先駆けてAIを活用したマッチングシステムに改修し、登録会員数の増加に努めてきたところである。また、新型コロナウイルス感染症に対応するため、令和2年10月からはオンラインによる出会いイベントを開催している。入会登録する場合は、センターに必ず来所して面談を受けてもらう必要があったが、利用者の利便性の向上や感染症対策として、令和3年8月からオンライン会議ツールを活用したオンライン入会を導入した。 本県の人口減少の進行に並行する形でセンター登録会員数は減少傾向にある。また、平成31年3月に県が取りまとめた「少子化・子育て施策等に関する調査」によると、「センターを知っていますか」との間に「知っている」と答えたのは3割程度と認知度は低く、センター登録会員数の増加に向けてより一層の取組を行い、登録会員数及び成婚者数の増加に繋げていく必要がある。				
	(課題への対応) ・チラシやポスター、ホームページ等による周知広報を継続的に行うほか、県内商工会議所等と連携し、新規採用職員研修の場を活用してセンターをPRし、登録会員数の増加及びセンターの認知度の向上を図る。				
	(個別事業の内容)				
番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定	
1	あきた結婚支援センターの運営	登録会員が結婚の希望をかなえられるようにするため、センターの運営として以下の取組を行う。 ・中央センター(秋田市)、北センター(大館市)、南センター(横手市)の3カ所で運営 ・中央センターは、年末年始(12月29日~1月3日)を除いて年中無休で開所し、登録会員や県民等からの結婚相談に対面、電話、メール又はオンライン会議ツールにより対応 ・AIを活用したマッチングシステムによる引き合わせ ・会員登録や結婚相談業務を行う出張センターを県内3市(能代市、由利本荘市、大仙市)に設置(年間36回予定) ・オンライン婚活イベントの開催 ・ホームページやSNS、メールマガジン等により、自治体や企業等が行う出会いイベント等の情報の発信 ・結婚サポーターの活動支援 ・会員団体の登録及び支援 ・すこやかあきた出会い応援隊(以下「応援隊」という。)の登録及び支援 ・センター職員のスキルアップ研修(年2回程度) ・登録会員数の増加及びセンターの認知度向上のための周知広報(チラシ、ポスター、HP等) ※用語説明 会員団体 ……結婚を希望している独身従業員の出会いや結婚を応援するため、センターに登録している企業・団体。390企業(R4.12月末時点)が登録。 すこやかあきた出会い応援隊 ……結婚を希望する独身者に対し、出会いの機会を創出するため、センターに登録して出会いイベントや婚活スキル向上セミナー等を開催する民間団体等。143団体(R4.12月末時点)が登録。 結婚サポーター ……地域の結婚相談役として県に登録し、結婚を希望しているがサポートを必要とする方に、お世話やアドバイスをする者。257人(R4.12月末時点)が登録。		○	

※(注)3	<p>【次年度以降に向けた事業の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センター登録会員の声を踏まえて利便性を高めるとともに、業務の効率化を進め、新規入会登録者の増加やセンター運営の趣旨に賛同いただける企業・団体等を増やすことにより財源を確保し、結婚の希望をかなえる取組を継続的かつ安定的に実施できる体制を整える。</li> </ul> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】</p> <p>特になし</p>			
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
	合計特殊出生率	%	1.39 (R5)	1.22 (R3)
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率		1.22 (R3)	
	婚姻件数	件	2,686 (R3)	
	婚姻率		2.8 (R3)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	<アウトプット>			
	センター会員登録数	人	1200人 (R5)	1,128人 (R4.12末時点)
	<アウトカム>			
	センターに相談等を行った結果、成婚に至った人数	人	160人 (R5)	129人 (R3)
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録会員数の増加やセンターの認知度向上を図るため、市町村が実施する出会いイベント等の参加者に対し、周知広報を行う。</li> <li>・県が主催する結婚支援担当者会議(兼)地域少子化対策協議会に構成員として参加し、センターの活用や周知広報を働きかける。</li> </ul>			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員団体に対して、センターのチラシやポスターを配布しセンターの周知を依頼する。</li> <li>・応援隊が実施する出会いイベントをセンターHPで周知する。</li> <li>・商工会議所等が実施する新規採用職員研修での周知や、秋田県JA中央会が主催する「種苗交換会」等の各種イベントにおいて、センターのブースを設置して周知広報を行う。</li> </ul>			